令和２年度　第１回置戸町総合教育会議議事録

１、会議招集の期日及び時間

令和　３年　３月２５日　　午前１０時３０分～午前１１時４０分

２、会議の場所

置戸町役場　第１会議室

３、出席者

置戸町長　　　　　　深　川　正　美

教育長　　　　　　　平　野　　　毅

教育長職務代理者　　三　好　秀　市

教育委員　　　　　　河　野　智　子

　　〃　　　　　　　　篠　　正　美

　　〃　　　　　　　　米　本　暁　永

４、事務局その他の出席者

蓑島副町長、鈴木総務課長、大戸学校教育課長、鈴木総務係長

５、傍聴人

　なし

開会

　鈴木総務課長の進行で開会

町長挨拶

　町長就任から教育委員の皆様との意見交換する場が少なかったため、今回の総合教育会議でたくさんの意見を頂戴したいです。新年度は、私の公約である児童館建設に向け教育分野では社会教育を中心に努めていきたいと思いますので、町政執行にむけ教育委員の皆様におきましてもご協力をよろしくお願いします。

以後、深川町長の議事進行により協議を行う。

**深　川 町 長**　　それでは、３月議会でも注視された中学校の防災教育（震災学習）について学校教育課長より詳細を説明いたします。

**学校教育課長**　　現在の中学校の修学旅行について説明いたします。

　置戸では中学校２年生から北見工業大学の講師から地震のメカニズムや東日本大震災で実際に被災した最年少（１９歳）の語り部から震災について事前に学び、３年生になったら実際に被災地である東北地方へ修学旅行に行き、帰町後は発表会を行います。その後１日防災学習を行い、行って終わりではない、防災に関する学習のメカニズムができています。

　　　　　　　　一方、震災学習は良い取り組みではあるが、道内にウポポイが建設されたことから自らのふるさとである北海道のアイヌ文化に触れることも重要ではないかとご意見がありました。

　　　　　　　　震災学習が始まる前は、小樽、札幌、ニセコでラフティングなど観光的な修学旅行でした。

　　　　　　　　町からの補助もあるので、旅行に係る費用の個人負担が６万円で震災学習は学ぶことが数多くあると思います。震災学習は引き続き行っていきたいと考えてはおりますが、修学旅行についてふるさと教育とするか震災学習とするか、ご意見いただけたらと思います。

**教　育　長**　　道内に修学旅行に行くにしてもお金は同じくらいかかるので、自分でも衝撃を受けた被災地の現状を知ってもらいたいので震災学習は子ども達にとって良い経験になると思い、５年前から始まりました。学ぶきっかけを作り、興味を持ち、学んだことをわかりやすく伝える力を培うことがここ数年重視されているが、今回、子どもたちの発表を聞いて強く思ったのは３班に分かれていたが、偏ることなくすべての班の発表が素晴らしいものでした。コロナの影響で道外への旅行・飛行機を使用するものは控えてほしいと道教委から指摘があったが、協議させてもらうと置戸中学校の特色ある素晴らしい取り組みのためと許可がおり、道教委からの評価も高いです。私的には継続させてもらいたいが、学校が学習を終えたという判断に至るかどうか、５年の実績をみても子どもたちの成長の力を発揮できる修学旅行だと思います。

**深　川 町 長**　　新年度人事異動により、新しい校長先生が震災教育についてどのような考えを持っているかわからないため、見直しの時期となっています。

**（深川町長）**町議からは早めに方針打ち出さないと、子どもも期待してしまうので、民族共生空間ウポポイが誕生し、北海道の歴史を学ぶことも大事なコンテンツのため今後の震災学習の見通しについて質疑がありました。旅費等の問題よりも、学校の判断がどう出るか、３年の震災学習のカリキュラムがPTAの要請により延長しているため役場が行かせているわけではないし、町議が言う北海道の歴史を学ぶことも重要であります。

　ウポポイには修学旅行ではない別の形で訪問したらどうか等色々と考えておりますが、教育委員の皆様から見た震災学習はいかがでしょうか。

**河 野 委 員**ウポポイに行った人に話を聞くとじっくり見ると一日では時間が足りないと言っていました。被災地には一人で行こうとは思いませんが、ウポポイは個人で興味のあるブースをじっくり見物するほうが良いのではないでしょうか。置戸に限らず、大きな地震などが今後予想されるので防災学習は必要だと思います。

**篠  委 員**河野委員と同意見です。

**深 川 町 長**ウポポイについては小学校や社会教育のふる少やリーダー研修にて福祉バスで行ったりするのはどうかという意見もあります。

**三 好 委 員**　　　東北がとかウポポイがとかよりも、子ども達の学ぶ能力がつく修学旅行が良いと思います。修学旅行より帰ってきて、置戸に還元する事後研修や発表会が素晴らしい。自分たちに置き換えて考えられること、自助とか防災については中学生の知識のほうがはるかに高いと思います。

**米　本 委 員**　　お寺は避難所になることが多く、松前の研修で他の自治体と交流した際は実際に被災した人と被災していない人の反応が全然違いました。ウポポイでアイヌ文化を学ぶことも重要ですが、被災地を見るというのは生きる力としても良い経験だと思います。

**深 川 町 長**中学校の影響とは言いませんが、置戸は小学校・高校も教育的に防災に力が入っている。置高で自衛隊と連携して、障害のある方や、お年寄りを避難させる訓練を行ったところ、自衛隊としても気づけることがあり、よい取り組みとの評価をいただきました。皆様からいただいた意見を含め新しい校長先生に提案して今後の学校の考えを決めていただきたいと思います。

ほかにご意見ありませんか。

**全　　員**　　　　 なし。

**深　川 町 長**　　　先日、小学４年生の子どもをもつ職員と会話していたら、もう（子どもが）スマートフォンを持ってないと友達においていかれるという話をしました。自分自身はそのような考えを持っていませんでしたが、学校でもタブレットを渡したりなど避けては通れない時代になったのだと思います。置戸出身者が会長を務める練成会の塾長が置戸に来庁されたときに会長のふるさとのなのでたくさん協力できると言ってくださいました。田舎だと都会と違い塾も少なく学習するチャンスが少ないから、チャンスを与えてあげたいという思いがあるようです。タブレットを使った授業は魅力的で洗練されており、子どもとデジタル社会の関係性は学校でも進んでいくと思いますが、教育には人が関わらないとならないものと私は考えます。皆様はどのように考えますか。

**三 好 委 員**自分の子どもにも、親の管理のもと使わせているが、学習に置きかわるでしょうか。AIが導入され、個々の能力が把握される機能とか開発が予想されますが、家庭学習の整備の平等化は難しいと思うので、光回線の整備等を早めてほしいです。

**篠  委 員**中学生になると自分より物知り。役立つかどうかは別として（スマートフォンで）なんでも調べることができて便利だとは思います。

**深 川 町 長**　　　デジタルを推進する一方で置戸は図書館の町でもあるので、図書館の利用についても力を入れてほしいという意見もあります。読書は個人の想像力を膨らませることができますが、もう、幼稚園児がYouTubeを見る時代であり、決まり文句で子どもに学校等へ携帯を持っていてはダメと言いますが、持っているとやはり便利に感じる時代となったと思います。

**米 本 委 員**　　　自分は小学校のころから家にパソコンがあったので、興味を持ってホームページ等を作成していました。YouTubeやゲーム以外にも興味を持つならどんどん使っていてほしいと思います。

**深　川 町 長**　　　視力の低下やSNSの悪い活用法などマイナスな面もありますが、正しい活用を教えられる立場の人が必要だと思います。

**河 野 委 員**学校の先生方の対応、得意な人と苦手な人で全然違うと思います。専門的な人の配置とかはありますか。

**学校教育課長**　　　中学校は、デジタル教科書を導入しています。インターネットの扱いが得意な教員もいます。中学校のノウハウを小学校にも取り入れられるような仕組みづくりも必要と感じています。

　**河 野 委 員**何か問題が起きても対応できるのですか。

**学校教育課長**　　導入している学習サポートシステムでは困ったことにも対応できる契約となっています。

**深　川 町 長**　コロナの影響もあり、光回線の普及やデジタル化は避けては通れない問題となっているので、置戸町でも早急に対応できるよう努めていきたいと思います。光回線の引き込みにも時間がかかると思うので、人口が少ないからこそできるということを強みにしたいと思います。

**（深川町長）**　先ほどの修学旅行もそうですが、少人数だから行えるということもあります。また「少人数」でいえば、置戸高校の新年度入学者数は１０人でした。管内では留辺蘂高校の入学者の募集停止という声もあり、PTAの力でなんとかくいとめたようですが、置戸の存続も大変だと思います。経済的な支援もしますが、高校生とじかに意見交換をしたところ、ありがたいことに地域の人とつながりたいという意見がありました。その意見に対し、支援対策協議会では寮の女湯は湯船が広くお湯をためるのが大変でシャワーで入浴を済ませているようなので、勝山温泉ゆうゆからバスを運行してはどうかなど置戸の魅力を感じてほしいという意見がありました。

今の時代、奨学金のしばりというのはあまり強くないと思います。置戸高校を知ってもらうこと、また地域とどのようにかかわればよいか意見がありましたら、お聞かせ願います。

　**河 野 委 員**高校の実習はどう行っているのですか。町内で行わないのですか。

**学校教育課長**学生の地元に戻り行っています。コロナの関係で今年度はできませんでしたが、１年生は老人ホーム・こどもセンターどんぐり・おけと大学に訪問しています。

**河 野 委 員**JAの女性部で希望者は遠軽厚生病院等で介護実習を行っています。それを置戸高校ですることは可能ですか。

**深 川 町 長**良いと思います。農業・林業実習の受けはあまりよくなかったですが、福祉関連でないことにも興味を持ってもらいたいです。中学３年生で将来の進路を決めることは難しいです。福祉科＝介護福祉士ではなく、高校卒業後建築の道に進んだり、トリマーになる子どもだっています。ただ、最短で介護福祉の資格を取るだけでないということをたくさんの人に知ってもらいたいです。篠委員の家業を体験させてもらい、篠牛を提供したりとかはどうですか。

**篠  委 員**お肉を提供するのと存続問題は全然違いますが、福祉への魅力を感じさせる方法が難しいと思います。

**深 川 町 長**今年、どさんこワイドにOBが出演し、置戸高校をPRしてくれました。置戸の良さを口コミで支援してくれるのが効果的で、人・先輩・介護職の親御さんの職場に宣伝できると入学者の幅が広がります。

**篠  委 員**置戸に魅力を感じたOB・OGにたくさんホームページ等で宣伝してもらってはいかがですか。

**深 川 町 長**YouTubeの宣伝という意見もありました。ありがたいことに高校生本人からそういう話を聞くと、こちらもたくさん支援してあげたいと感じています。

**河　野 委 員**何年か前は図書館でも（高校生が）読み聞かせをしてくれるボランティアサークルがありましたが、研修とか忙しくなると時間的にも厳しくなってきて、本当に福祉がやりたい子でないと務まらないのかと思います。

**深 川　町　長**置戸は大変だと思われている意見もありましたが、温泉や農業実習など地域とのつながりを大切にしたいという思いがあれば、変わると思います。以前はお祭りの手伝いを頼んでも日程が合わなきゃ無理という考えに、私たちも遠慮していましたが、今は違います。３年間苦労の学校だったと思われるより、置戸に来てよかったと思える学校へしていきたいです。

**河　野　委 員**宣伝してくれたOBの子はきっと楽しかったという気持ちがある子だったのだと思うので、そういう子どもを増える努力をしていきたいです。

**副 町 長**３年生は忙しいが、１・２年生は時間があると思います。地域との関わりのきっかけづくりはこちらで考えるべきだと思います。ただ、大変さを知らないで入学し、辞められても困るので入学の前にはある程度の説明は必要だと思います。

**深 川　町 長**置高生もほかの高校生と変わりません。寮生活での不便やほかの高校生とは違うところはありますが、ホスト家庭を持ったり地域密着の取り組みも必要かと思います。

**（深川町長）**ほかにご意見ありますか。

**三　好　委 員**置戸町の人材育成基金は社会人の資格取得の支援等にも使用できるのでしょうか。就職先が置戸であれば返済しなくても良いなどの決まりがあれば、置戸町の定住のきっかけにもなるのではないでしょうか。

**深　川　町 長**置戸の人材育成基金の活用は学業をメインにしており、そういう想定はないです。しかし、就業については産業分野で必要な制度ではないかと思いますので、コロナ経済対策が落ち着けば着手できるよう努めていきたいと思います。併せて、従業員の社宅建設の支援など移住・定住にも力を入れていきたいと思います。また、即答はできないのですが、置戸町の企業へ就職すれば奨学金返済免除等も視野にいれ検討していきます。

ほかに意見がないようなので、以上で総合教育会議を終わりたいと思います。本日の意見を参考にまちづくり全体を進めていきますので、これからもご協力よろしくお願いします。

閉会（鈴木総務課長）